

## 第32回 土木フェスティバルで「土石流模型実験」を実施!



▲土石流模型実験の実演の様子



▲土砂災害を学習するパネル展示

10月9日(日)長岡市内「国営越後丘陵公園」にて、第32回土木フェスティバルが開催されました。湯沢砂防事務所が開設した「土石流模型実験コーナー」では、模型実験を通じて土石流の恐ろしさや砂防えん堤の役割などをわかりやすく説明しました。

また、大量の土砂が流れている様子を捉えた映像を用いて、砂防施設がどのような働きをしているかを説明し、砂防事業について理解を深めてもらいました。この他にも、会場では降雨体験装置・照明車・地震体験装置などにより、多くの方々に土木に親しんでいただける内容となっていました。

土石流災害の恐ろしさだけでなく、事前の準備の大切さ、実際に避難する際のタイミングなど家族や友人と考えるきっかけになってほしいと思います。

### ＜土石流模型実験を見て… 参加された皆さんの主な感想＞

- ・模型を使うことで土石流について、わかりやすかったしおもしろかった。
- ・橋がこわされるのはいやだし、土石流がおきるのはこわい。
- ・2度目の土石流では砂防えん堤を越えて土砂が流れると思ったが、土石流を受け止めたことにびっくり!
- ・土砂災害を防ぐ仕組みがよくわかった。
- ・大人になったら砂防えん堤を整備する人になりたい。

### 【その他ブースの一部紹介】



▲降雨体験車



▲地震体験車